026313-000-7

特31-369

豊前地誌のあらまし

川江 直種／著

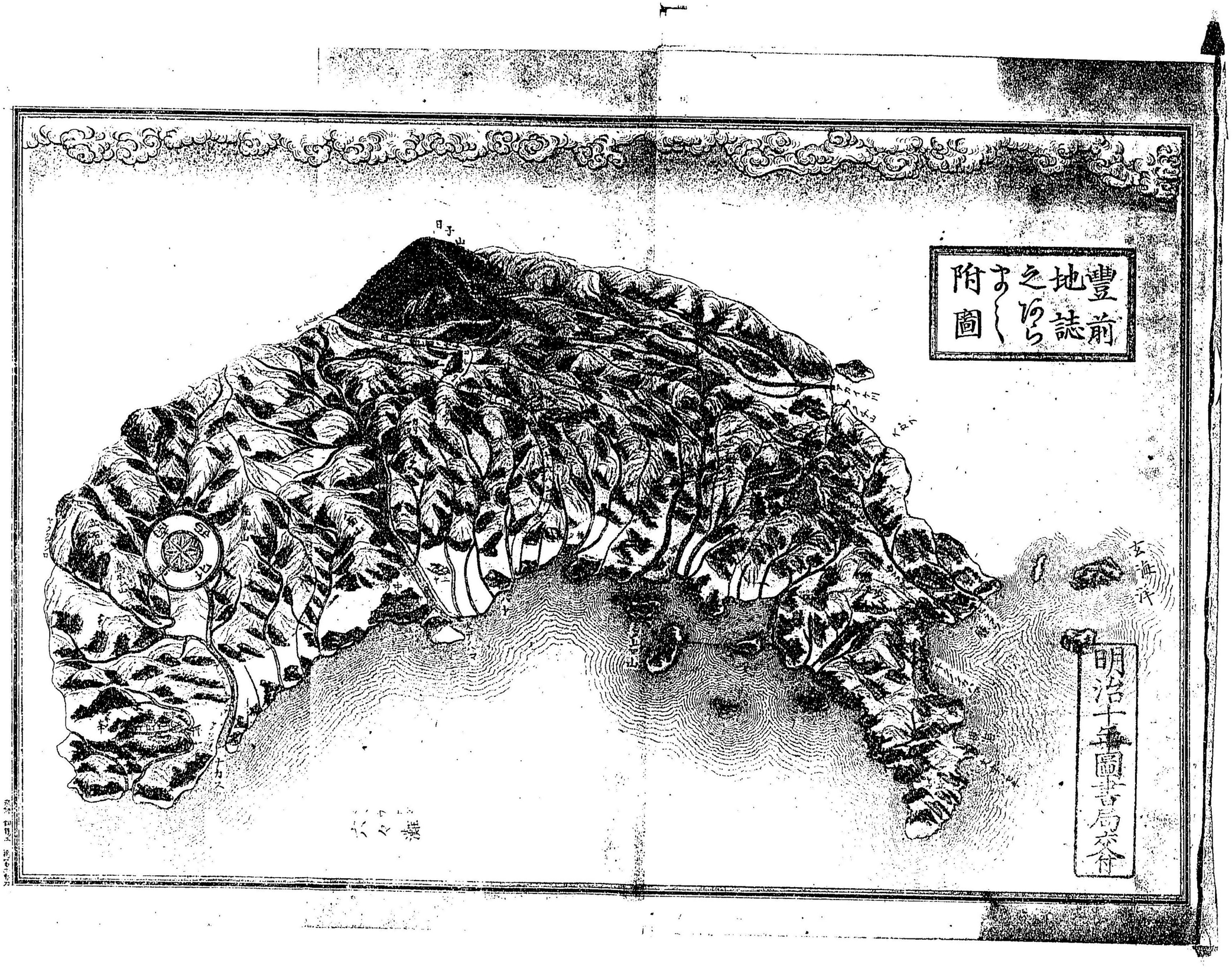
M9

ADC-4099

川江直種著
田中亮書

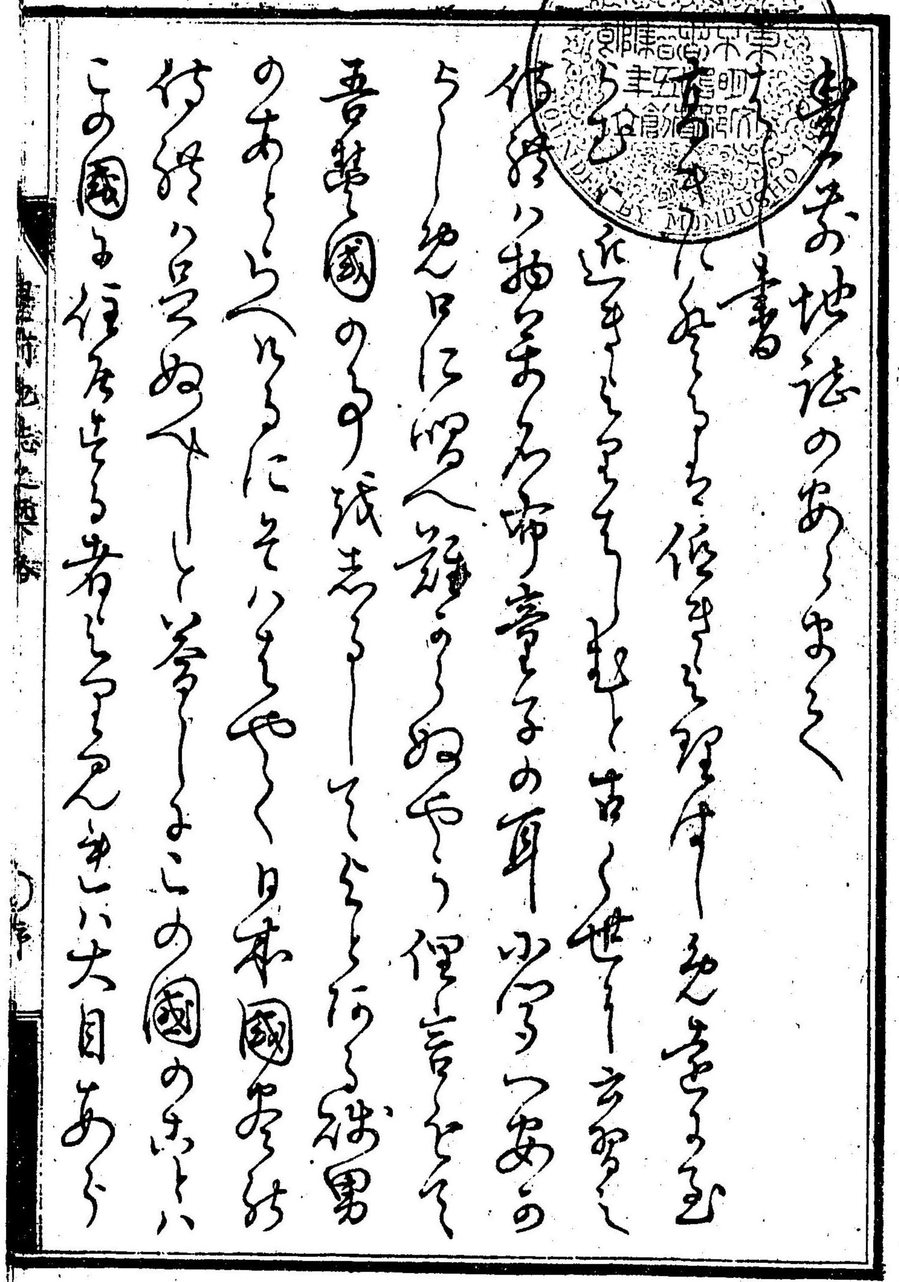
# 豐前地誌稿

明治九年七月十日出版
同　年八月九日版權免許
同　年十二月十日刻成
川江氏藏版


豐前地誌之ゆらす附圖
明治十年圖書局交付
日子山
玄海洋
北

特31
369

TOKIO LIBRARY
東京市本郷区真砂町五番地
帝国図書館蔵書印
DONATED BY MOMBUSHO



世界の地誌のあらましを
書
[illegible]
[illegible]
[illegible]

出ぬ[illegible]なるべし[illegible]ものあ
らはれ[illegible]ふ[illegible]たにこゝ[illegible]戸の[illegible]
らゝ[illegible]
大御世の光[illegible]
[illegible]
[illegible]

奉ぶ。表は東は西南をぐうちと称する甘蔗の中央張出て来る又肉山の地形なり。

麓て言は龍門の滝を登る鯉に似て。東は頭ゆ

尾に。西南一番山頂を。自然と皆甘蔗の如くなる。前形なる海は其魚の鱗の数を行程

約。里数も合わや六十瀬。波に

以て知て是てくだらを書る尾

の矢(サキ)に玄海洋の怒濤(アラナミ)を抑へ
て危き勢ひを防ぐ。地形を考ふ
豫山の。上に篝(イラカ)を砦として。武
威を表はし鎮臺の。前ハ
石垣を以て築の濱。開ける



競(セリ)上小倉市街(マチ)。此支に縣廨
置る。小倉縣とそ。今の
年明治九年の春。福岡縣に
合併。其支廨とそ定まる
る。其管轄ハ企救田川。京

都仲津小築城郡。上毛下毛に字佐郡。此八郡の概畧を。予習ひそむる幼稚なる。習覺えて其後か他の縣々やか國々。中にも推て渉るへ。先此國のあらまを硯の海に筆立山。筆ゝ如ゝ文字の関。書て學ひの山口と。登ら世ゝむる立山。君と呂と結ゝ。吾

皇國の其道を。まもりたる諸
清麿の。深きこゝろにて。古稀也。
そゝぎ。そ里。山川。澤(ヒラオ)に。平峽
聖山や。春風の。福智の山の
南方を。振さけ見まを久



方。雲を。貴く。日子の山。是
ハ。恐くも。天照(テラス)。日(アマ)の大神。
御子の宮。在を。初て。日子と
いゝ。其山。孫の御一所。この谷。昔人
皇十二代。景行天皇。土蜘蛛

を。伐(ウタ)て民を苦しめ。金(ス)くせしと御心の長(ナカ)峰の縣に行宮(カリミヤ)を。立て坐ます。山ゐを。則ち御厨の谷と云。郡を京都と申す。夫を



南の大ヶ岳。立なら山と云る松尾山。雲ゐを引て雁股(カリマタ)山。四方の眺望を。八面山。峯の桟を。拔(カク)て水ゐる樋柳山。

紅葉に彩られて鹿越山。一層秀
て名も高き。馬城の高根ハ
官幣社。大社と仰く宇佐
宮の。口碑とくそ聞えてき。岡
邊に突兀と。立石山や小夜



更て。書とも靜聲を吹送る。鹿
嵐山に烏帽子山。抜て出あら
ふ人見岳。其外山も多くき
と。登り一里ゆ夜をとる。其山て
き猪室て。川の方を渉り

行先蒲生川の水源は管
生の瀑布と大清水の二の流
一ツに成て流出ること四里余。
東は小倉の海と成る。板櫪川
の水上は前堺金山の溪

今里半軍松の浦にて是
を海へ入る。行程節三里
ばかり。是より如流出て川系
と。昔天平十二年逆賊藤
原廣嗣を官軍大野東

人伐亡せ一古戦場。降る五
月雨に増水砂。志池川の水
上ゟ。蓑の山ゟ流出て。筑前
界ゟ到るまて。大凡九里と
そ。なる。也そのくい志ゟ



今川の。其水源も蓑の山。流程
十里余ゟ。筑島山ゟ出。周
防洋ゟ流ゟ行。千樹等
末聳ゟて。山國川も蓑山
の。渓ゟ出て十三里。流水砂

果ハ吹出の濱ニて海ト
集ル。驛館川ト古の菟
狭川トも世の中に流れて
今も中ゴ里。其水源を尋ル
ハ。豊後の國の玖珠郡。福



間ヶ岳ト冠内の冠刈山ト茶
鑵(クワン)の口ト唱フる野原ト。溝
出る水ハ三流ヲ。則菟狭の
川ト称る。流程凡八里ヲ。
長洲の浦ヲ海ヲ入る。此

川上に是一騰(アヒトツ)の宮を造り立。歟を奉(マツリ)し人皇の。初代と仰奉る。

神武天皇創業に。その〳〵世の春宮。わけて芽出度



皇政。此八郡を八大區。〳〵別をなす〳〵。其内の。神社の數二千八百。六十四社の。貫中に。宇佐神宮八欽明帝。三十二年春の〳〵。申。なか〳〵。葺(カタ)敷

所。池の上に廣幡の八幡麿
そと告給ひ。頭垂れ
應神帝。神の命の社を。
官幣大社と崇山の上に祭て
萬代も。



朝庭(ミカド)の奉幣帛絶ずなす。
る諸國所々人々崇。春は桜
大尾山。櫻の馬場の曙や。花(ハナ)の
錦を有明の。月は淋川や
淺淋川。常(トコ)世(ヨ)の波の寄る

きぶとの宮ハ。後く
社ハ英彦山。忍穂稚の神の宮
居まそ。高根の上に千木たる
く。精まそる山風ハ。巽の方
へ聞えつ。神威も高くあ
らせまして。國幣社とハ稱て。
寺院ハ七百三十三。あ社ハ八百
そそ。末寺一。又村數ハ
八百と。十四村に町もまて。
九十八町。家數ハ。七万一千五百

余。男女人口凡ハ。三千二万二千
余。中に華族平民と。分ち
なあるとと分ちあるなり。
王化乃恵行亘り。所〻に建
てる學校や。病を救院病
院と。称するもの〻〻町〻ハ。晝ハ
フラフラ。夜ハランプ。晝夜分
ち知人力車。免〻〻〻〻〻〻
年月ハ。增産物ハ米と麦。
猶て桑と棉茶園。山にハ石

炭又磁石。銅鉛雲母礫石。
呼野乃金山堀る事の。難し
といへと有り聞。高山移に
仲津郡。同し〻支の淺竹。
世に称らし〻き物なり〻。其

外海邊椎田海苔。大里若
和布や長濱竹(マテ)蛭。平松浦
紡点珠貝。かひ有る業の裝
物ハ。暦(ヒ)紡糸や小倉織。上野
の陶器寒田(サワタ)炭。ハ屋表ア

仲津酒。塩川米綿古屋
笠。冠ラレ寒暑一般ナリ。民
の耕ス田畑。四高三十六
万余。地租改正モ未功ス。券
税四十三万六千二百円ある
ヨリ。寛ク納ル
君の御代。金穀の高濱高砂子。
盡キ無ク絶ユル事。

明治九年七月

松濤田中亮書

明治九年七月十日出版版權御願
同　年八月九日　版權免許
同　年十二月十日　刻成

著者　福岡縣士族　川江直種
出版人　豐前國第一大區六小區二百四十一番地　同上　田中亮
筆者　豐前國第一大區一小區千七百九十三番地　豐前國小倉京町一丁目　御用製本所
發兌　西京東洞院三條上ル町　村上勘兵衛
書肆

東京都三條通柳馬場角　大谷仁兵衛　東京日本橋壹丁目　北畠茂兵衛
同　通寺町西ヘ　杉本甚助　同　芝神明前　山中市兵衛
同御幸町柳小路上ル　藤井孫兵衛　同日本橋川瀬五丁　村上勘兵衛出店
同河原町三條上ル二丁目　大黒屋太郎右衛門　豐後府内堀川町　同　出店
同四條通烏丸東　乙葉宗兵衛　豐前小倉京町壹丁目　同　出店
大阪心齋橋通北久郎町　河内屋喜兵衛　豐後府内大分町　山川正三郎
同　通安土町　吉田善藏　豐前中津諸町　是恒真楫
奈良　今小路町　後藤輯　備前岡山紙屋町　世良田藤太郎
丹波　綾部　堀勘七　肥後　熊本　中山貞吉
同　福知山鍛冶町　荒木喜助　同　河野文次郎
出雲　松江　稲吉吉藏　長門　下ノ關　書籍會社
同　有田傳助　美濃　岐阜　玉井忠藏